

医療技術学科新聞

2016年
3月号

卒業おめでとう

3月10日(木)に学位記授与式がありました。臨床工学専攻62名、臨床検査学専攻39名の計101名が本学科を巣立って行きました。女子は袴、男子はスーツなどを着込み講堂を華やかに彩りました。授与式の後は部活やサークルの後輩に見送ってもらったり、各学科で実施する謝恩会の準備などで、卒業生にとっては大忙しの日だったようです。この度卒業された4年生より大学生活の振り返りと在校生に向けてメッセージを頂きました。

(田中紀裕)



(写真) クラス委員の送別会の様子

1年間を振り返り

4月から学年が上がリ、これまでと学ぶ内容が難しくなったり、部活内でも立場が変化します。今回は2015年度を様々な側面からクラス委員に振り返ってもらいました。

●2年生と合同の科目や、検査センターの見学など

いろいろなことを見聞きして、将来への意識を高めることができました。高校までの授業と違って、レポートなど大変に感じるところもありましたが、これから2年生になって専門的な講義も増えるので今以上に

に頑張りたいと思います。(中澤歩美)

●2年生になってから、勉強面では専門的な学修内容やレポートが増え、部活面では先輩ができた仕事も増え、1年生の時とは違った緊張感がありました。その反面、中休みもしてしまい、この位やっておけばいいだろうと勉強で手を抜いてしまった時期もあり後悔しています。専門分野の授業で学ぶ膨大な知識量は習った時から少しずつ頭に蓄積していかないとはいけません。2年生だからまだまだ時間がある、と思うのは錯覚で、サボった分のツケは必ず倍返して跳ね返ってくるんだと反省した1年でした。

(宮内彩)

●勉学に関しては、2年生になって専門的な学修内容が増したことで、1年生の時に比べてモチベーションが高くなりました。専門的な実習も始まり、自分の将来に直結する内容を学修するという事で、学修意欲と同時にその責任感もより一層大きくなりました。課外

活動に関しては、2年生になってESS部に入部したことで、他専攻・他学年の学生と英語を通じて和気あいあいと楽しく英語を使ったコミュニケーションをとることができました。その中でも、他大学との交歓発表会として英語の劇を行ったことが、本当に印象に残っています。劇をやり終えた達成感は今でも忘れることができません。プライベートでは時間のある日に友人と県外に旅行に行ったりと、公私ともに充実した1年でした。(大畑泰斗)

入学をする前に：

入学が始まるとなかなか時間が取れないので、時間に余裕がある方は自動車学校へ通い、入学前までに自動車免許を取得することをオススメします。また、高校の友人と大学へ進学する前に、思い出作りとして卒業旅行に行くのも良いでしょう。一人暮らしを始める場合は部屋を決めたり、部屋に置く家具を購入したり、入学式で着用するスーツを新調するなど大学生活を始める準備も早めにしたほうが良いと思います。入学が決定した後、学科で作製している入学前学習の

手引きを使って大学での勉強内容を予習してもいいかもしれません。入学後にはすぐ数学と英語の実力テストが行われるので、受験が終わっても気が抜けない日々が続きます。英語はクラス分けに関わるので、是非しっかりと高校の内容を復習しておいて下さい。

入学後には是非：

本学は広島大学・広島市立大学・広島工業大学との連携事業として「臨床情報医学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成」プログラムに参画しています。このプログラムは各大学の教育や研究の特色を生かした講義、実習を行い、様々な知識と実践力を有した人材の育成を行うものです。内容としては本学や他大学の実習室に赴き、実践的な実習を行ったり、遠隔システムを利用した講義などがあります。入学後は是非このプログラムに参加して、知識を深めてみてはどうでしょうか。

今後の大学・学科の予定

- 4/3(日) 入学宣誓式
- 4/4、5(月、火) 新入生ガイダンス
- 4/6(水) 広国DAY、

医療技術学科新入生オリエンテーション
4/7(木) 前期授業開始
4/29(金・祝) 授業実施日

4/1〜4/16 2〜4年生履修申請受付期間
4/7〜4/21 1年生履修申請受付期間

作成者(医療技術学科クラス委員)
田中紀裕(4年臨工)
真鍋 葵(4年臨工)
比嘉千春(3年臨工)
久行菜帆(3年臨工)
青木麻友(3年臨工)
今朝丸麻希(3年臨工)

東原 諒(3年救急)
宮地彩花(3年救急)
水國あゆみ(2年臨工)
森元夏海(2年臨工)
百合野真由(2年臨工)
三澤英里子(2年臨工)
宮内 彩(2年臨工)
大畑泰斗(2年救急)
竹中佑介(1年臨工)
森山翔太(1年臨工)
斧幸一郎(1年臨工)
中澤歩美(1年臨工)
田中芹奈(1年救急)
西沙智圭(1年救急)

担当教員
藤本 浩章
川中 洋平
徳毛 悠真